

グリホサートカリウム塩液剤で除草できない オヒシバは他の薬剤で除草可能（浪江町）

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 福島県営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証

研究課題名 花木栽培ほ場における抵抗性雑草の防除方法の検討（浪江町）

担当者 佐藤優平、小椋智文

I 新技術の解説

1 要旨

浪江町の花木ほ場において、グリホサートカリウム塩液剤に抵抗性があるオヒシバの発生が確認された。そこでほ場において抵抗性があるオヒシバに対して登録のある他の薬剤の効果を調査した。グルホシネート P ナトリウム塩液剤及びジクワット・パラコート液剤は除草効果を確認できたが、ジクワット・パラコート液剤は残草が見られた。

- (1) 7月20日まで全ての区でグリホサートカリウム塩液剤を散布しており、8月5日から各処理薬剤を散布した（表1）。
- (2) ジクワット・パラコート液剤区では薬剤散布後にオヒシバの被覆度は減少したが、残草が見られ9月には再び被覆度の増加が見られた（表2、図1）。
- (3) グルホシネート P ナトリウム塩液剤区では薬剤散布後に被覆度は減少し、ほとんど枯死していた（表2、図1）。また、9月でも被覆度は低いままだった（表2）。
- (4) グリホサートカリウム塩液剤区では散布前後で枯死が見られなかった（表2、図1）。

2 期待される効果

グリホサートカリウム塩液剤に抵抗性があるオヒシバの除草が可能になる。

3 活用上の留意点

- (1) 薬剤の液量については、各薬剤における樹木類に対する登録に準じました。
- (2) グリホサートカリウム塩液剤は「ラウンドアップ」、ジクワット・パラコート液剤は「プリグロックスL」、グルホシネート P ナトリウム塩液剤は「ザクサ液剤」である。

II 具体的データ等

表1 薬剤散布実績（7月～9月）

日付	散布薬剤		
	グリホサートカリウム塩区	ジクワット・パラコート区	グルホシネートPナトリウム塩区
7月20日まで	グリホサートカリウム塩	グリホサートカリウム塩	グリホサートカリウム塩
8月5日	グリホサートカリウム塩	ジクワット・パラコート	グルホシネートPナトリウム塩
9月15日	散布無し	ジクワット・パラコート	グルホシネートPナトリウム塩

表2 各処理区におけるオヒシバ被覆度（%）

区名	2022/8/2	2022/8/17	2022/9/15	2022/9/29
	散布前	散布2週間後	散布一ヶ月後	再散布2週間後
グリホサートカリウム塩区	41.7	43.3	63.3	60.0
ジクワット・パラコート区	68.3	20.0	80.0	23.3
グルホシネートPナトリウム塩区	86.7	1.7	12.0	2.3

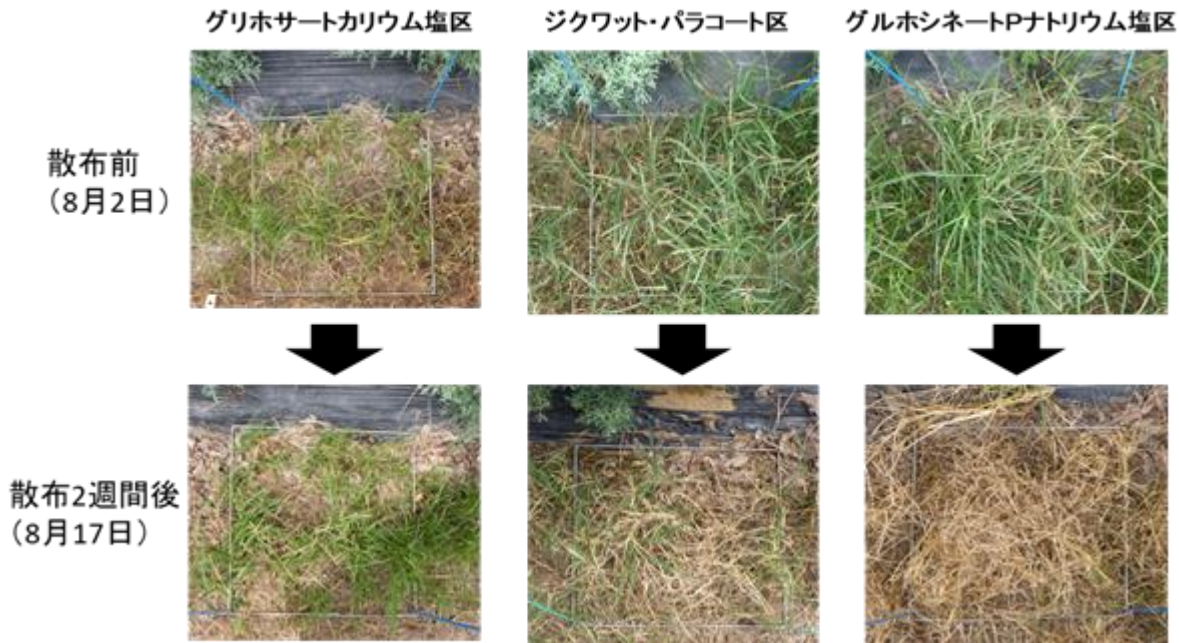


図1 薬剤散布前後の様子

III その他

1 執筆者

佐藤優平

2 実施期間

令和4年度

3 主な参考文献・資料

(1) 埼玉県内のオヒシバにみられたグリホサート作用点抵抗性 (2021) 丹野和幸

(2) グリホサート抵抗性オヒシバの発生分布と数種除草剤による防除効果 比屋根真一